

***BOSE***

**LIFESTYLE® 650**  
HOME ENTERTAINMENT SYSTEM



取扱説明書

## 安全上の留意項目

### 安全上の留意項目および使用方法をよく読み、それに従ってください。

1. 本書をよくお読みください。
2. 必要な時ご覧になれるよう、本書を保管してください。
3. すべての注意と警告に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この製品を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れは乾いた布を使用して行ってください。
7. 通気孔は塞がないでください。ボーズ社の指示に従って設置してください。
8. ラジエーター、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発生する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
9. 電源コードが踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。特に電源プラグやテーブルタップ、機器と電源コードの接続部などにはご注意ください。
10. 必ず指定された付属品、あるいはアクセサリのみをご使用ください。
11. 雷雨時や長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
12. 修理が必要な際には、Bose カスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、たとえば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への侵入、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、ただちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。



この表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に注意喚起するものです。



この表示は、この取扱説明書の中に製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることを注意喚起するものです。



のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。



この製品には磁性材料が含まれています。体内に埋め込まれている医療機器への影響については、医師にご相談ください。



この製品には強化ガラスが使用されています。取り扱う際には衝撃を与えないようにご注意ください。破損した場合は、割れたガラスで怪我をしないように注意して処理してください。

- 火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や湿度の高い場所で製品を使用しないでください。
- 水漏れやしぶきがかかるような場所でこの製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。
- 火気や熱源などの近くで使用しないでください。火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。
- 許可なく製品を改造しないでください。
- インバータ電源は使用しないでください。
- 車内や船上などで使用しないでください。
- この製品に付属するスピーカーワイヤーおよび機器間接続ケーブルは、壁面埋め込み向けではありません。壁面埋め込み配線を行う際は、お住まいの地域の法令等に準拠したケーブルや施工法をご確認ください。詳しくは専門の施工業者にご相談ください。
- 電源アダプターは、必ず製品に付属しているものをご使用ください。
- 万が一の事故や故障に備えるために、よく見えて手が届く位置にあるコンセントに電源プラグを接続してください。



標高2000mを超える高地での使用には適していません。

- 空気の流れが妨げられる恐れがあるため、本製品を壁のくぼみや密閉された家具の中には置かないでください。
- 暖炉、ラジエーター、暖房送風口、その他の熱を発生する装置(アンプを含む)の近くにブラケットを取り付けたり、本製品を設置しないでください。
- 製品ラベルはコンソールの底面にあります。

**注:** 本機は、FCC規則のパート15に定められたクラスBデジタル装置の規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに準拠することが確認されています。この規制要件は、住宅に設置した際の有害な干渉に対し、合理的な保護となるように策定されています。本機は無線周波数エネルギーを発生、利用、また放射することがありますので、指示通りに設置および使用されない場合は、無線通信に有害な電波干渉を引き起こす可能性があります。しかし、特定の設置条件で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機が、電源のオン・オフによりラジオ・テレビ受信に有害な干渉を引き起こしていると確認された場合、次の1つあるいはいくつかの方法で対処を試みることをお勧めします。

- 受信アンテナの向きや位置を変える。
- 本機と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続されているコンセントとは別の回路のコンセントに本機を接続する。
- 販売店もしくは経験豊富なラジオ・テレビ技術者に相談する。

Bose Corporationによって明確な許諾を受けていない本製品への変更や改造を行うと、この機器を使用するユーザーの権利が無効になります。

このデバイスは、FCC規則のパート15およびカナダ産業省のライセンス適用免除RSS規則に準拠しています。動作は次の2つの条件に従う必要があります: (1) 本装置は有害な干渉を引き起こしません。(2) 本装置は、不適切な動作を招く可能性がある干渉を含め、いかなる干渉も対応できません。

5150 ~ 5250MHzを使用するこのデバイスは、同一チャネルの移動体衛星システムへの有害な干渉の恐れを低減するため、屋内専用です。

このデバイスは、FCCおよびカナダ産業省が一般用途向けに定めた電磁波放出制限に準拠しています。

本機は、ラジエーターと身体の間を20cm以上離して設置して動作させる必要があります。

このトランスミッターは、他のアンテナまたはトランスミッターと一緒に配置したり、動作させたりしないでください。

## 低電力無線デバイスの管理規制

### 第12条

「低電力無線デバイスの管理規制」により、会社、企業、またはユーザーは、NCCの許可なく、承認済みの低電力無線デバイスの周波数を変更したり、送信出力を強化したり、元の特性および性能を改変したりすることはできません。

### 第14条

低電力無線デバイスが、航空機の安全に影響を及ぼしたり、正規の通信を妨害したりすることはできません。発見された場合、ユーザーは干渉が発生しなくなるまで直ちに使用を中止しなければなりません。上述の正規の通信とは、電気通信法に基づいて運用される無線通信を意味します。

低電力無線デバイスは、正規の通信またはISM帯電波を放射するデバイスからの干渉に対応できません。



Bose Corporationは、この製品がEU指令2014/53/EUおよび該当するその他すべてのEU指令の必須要件およびその他の該当条項に準拠していることを宣言します。完全な適合宣言書については、次のアドレス先を参照してください。www.Bose.com/compliance

本製品は、エネルギー関連製品のエコデザイン要件に関する指令2009/125/ECに従い、以下の基準または文書に準拠しています: Regulation (EC) No. 1275/2008、改正版Regulation (EU) No. 801/2013

電力状態に関する必須情報	電力モード	
	スタンバイ	ネットワーク待機
当該電力モードでの消費電力(230V/50Hz入力)	≤ 0.5W	すべてのネットワークタイプ ≤ 2.0 W
機器が自動的にモードに切り替わるまでの時間	< 2.5時間	≤ 20分
すべての有線ネットワークポートが接続され、すべてのワイヤレスネットワークポートが有効な場合、ネットワーク待機モードの消費電力(230V/50Hz入力)	該当なし	≤ 2.0 W
ネットワークポートの有効化/無効化手順。すべてのネットワークを無効にすると、スタンバイモードが有効になります。	<b>Wi-Fi:</b> 無効化するには、コンソールのSourceボタンを10秒間長押しします。Wi-Fi®を有効化するには、もう一度長押しします。 <b>Bluetooth:</b> 無効化するには、画面上のメニュー、リモコンの画面、またはSoundTouch app でペアリングリストを消去します。有効化するには、Bluetooth® ソース機器とペアリングします。 <b>Ethernet:</b> 無効化するには、Ethernet ケーブルを外します。有効化するには、Ethernet ケーブルを差し込みます。	

ヨーロッパ向け:

**運用周波数帯: 2400 ~ 2483.5 MHz:**

Bluetooth/Wi-Fi: 最大送信出力 20 dBm EIRP 未満


Bluetooth Low Energy: 最大電力スペクトル密度 10 dBm/MHz EIRP 未満

**運用周波数帯: 5150 ~ 5350 MHz および 5470 ~ 5725 MHz:**


Wi-Fi: 最大送信出力 20 dBm EIRP 未満

## 規制に関する情報

このデバイスを 5150 ~ 5350 MHz の周波数範囲で運用する場合、表に記載されているすべての EU 加盟国で屋内使用に限定されています。


										
BE	DK	IE	UK	FR	CY	SK	HU	AT	SE	
BG	DE	PT	EL	HR	LV	LT	MT	PL		
CZ	EE	FI	ES	IT	RO	LU	NL	SI		

### 中国における有害物質の使用制限表

有毒/有害物質または成分の名称および含有量						
有毒/有害物質および成分						
パーツ名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (CR(VI))	ポリ臭化ジフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	X	0	0	0	0	0
金属/パーツ	X	0	0	0	0	0
プラスチックパーツ	0	0	0	0	0	0
スピーカー	X	0	0	0	0	0
ケーブル	X	0	0	0	0	0
この表は SJ/T 11364 の規定に従って作成されています。 0: このパーツに使用されているすべての均質物質に含まれている当該有害/有害物質が、GB/T 26572 の制限要件を下回っていることを示します。 X: このパーツに使用されている 1 種類以上の均質物質に含まれている当該有害/有害物質が、GB/T 26572 の制限要件を上回っていることを示します。						

### 台湾における有害物質の使用制限表

機器名: Bose® Lifestyle® 650 home entertainment system、型式: 420128、420132、421088						
制限される物質および化学記号						
ユニット名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (Cr+6)	ポリ臭化ジフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	-	○	○	○	○	○
金属/パーツ	-	○	○	○	○	○
プラスチックパーツ	○	○	○	○	○	○
スピーカー	-	○	○	○	○	○
ケーブル	-	○	○	○	○	○
注1: 「○」は、制限される物質のパーセント含有量が、参照値のパーセントを超えていないことを示します。 注2: 「-」は、制限される物質が免除に該当することを示します。						

 この記号は、製品が家庭ごみとして廃棄されてはならず、リサイクル用に適切な収集施設に送る必要があることを意味しています。適切な廃棄とリサイクルにより、自然資源、人体の健康、環境が保護されることとなります。本製品の廃棄およびリサイクルに関する詳細は、お住まいの自治体、廃棄サービス、または本製品を購入された店舗にお問い合わせください。

### 製品情報の控え

シリアル番号とモデル番号は、製品梱包箱の側面に記載されています。

シリアル番号: \_\_\_\_\_

モデル番号: \_\_\_\_\_

この取扱説明書と共に、ご購入時の領収書を保管することをお勧めします。製品の登録をお願いいたします。登録は弊社 Web サイトから簡単に行えます。

**製造日:** シリアル番号の 8 桁目の数字は製造年を表します。「8」は 2008 年または 2018 年です。

**中国における輸入元:** Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Part C, Plan 9, No. 353 North Riyang Road, China (Shanghai) Pilot Free Trade Zone

**EU における輸入元:** Bose Products B.V., Gorslaan 60, 1441 RG Purmerend, The Netherlands

**台湾における輸入元:** Bose Taiwan Branch, 9F-A1, No.10, Section 3, Minsheng East Road, Taipei City 104, Taiwan.

Phone number: +886-2-2514 7676

**メキシコにおける輸入元:** Bose de México, S. de R.L. de C.V., Paseo de las Palmas 405-204, Lomas de Chapultepec, 11000 México, D.F. Phone number: +5255 (5202) 3545

## セキュリティ情報



この製品は、ボーズから自動セキュリティアップデートを受信することができます。自動セキュリティアップデートを受信するには、SoundTouch® appで製品のセットアップを完了し、製品をインターネットに接続する必要があります。**セットアップを完了しない場合は、ボーズが公開するセキュリティアップデートをお客様で自身でインストールする必要があります。**

## ライセンス開示情報

ホームシアターシステムに搭載されているソフトウェアパッケージに適用されるライセンス開示情報は、SoundTouch appまたは製品のIPアドレスを使用して表示できます。

### SoundTouch app

1. アプリで⇒>[設定]>[システム情報]>[法的事項]の順に選択します。
2. 該当するライセンスタイプを選択します。

### IPアドレス

1. 次のいずれかの方法で、製品のIPアドレスを確認します。
  - **SoundTouch app:** アプリで⇒>[設定]>[システム情報]の順に選択します。お使いのホームシアターシステムを選択して、IPアドレスを確認します。
  - **ワイヤレスルーター:** 詳細については、ルーターの取扱説明書をご覧ください。
  - **システム:** リモコンのSETUPボタンを押します。UNIFYメニューで、[システム情報]>[ネットワーク]の順に選択して、IPアドレスを確認します。
2. ワイヤレスネットワークに接続されているデバイスで、ブラウザを開きます。
3. アドレスバーに「**IPアドレス>/licenses.pdf**」と入力して開くと、該当するライセンス開示情報が表示されます。

AppleおよびAppleのロゴはApple Inc.の商標であり、アメリカ合衆国および他の国々で登録されています。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。

Android、Google Play、およびGoogle PlayのロゴはGoogle LLC.の商標です。

Amazon、Amazon Music、Kindle、Fireおよびそれらに関連するすべてのロゴは、Amazon, Inc.またはその関連会社の商標です。

Bluetoothのワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標で、Bose Corporationはこれらの商標を使用する許可を受けています。

**DOLBY AUDIO**™ Dolby、Dolby Audio、およびダブルDマークはDolby Laboratoriesの商標です。



DTSの特許については、<http://patents.dts.com>をご覧ください。この製品はDTS, Inc.のライセンスに基づいて製造されています。DTS、シンボルマーク、DTSとシンボルマークの複合ロゴ、およびDTS Digital Surroundは、DTS, Inc.の米国または他の国々もしくははその両方における登録商標または商標です。©DTS, Inc. All Rights Reserved.



HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIのロゴはHDMI Licensing Administrator, Inc.の米国および他の国々における商標または登録商標です。

iHeartRadioはiHeartMedia, Inc.の登録商標です。

DeezerはBlogmusik SASの登録商標です。

この製品はMicrosoftの特定の知的財産権によって保護されています。Microsoftから使用許諾を受けずに、保護対象の技術をこの製品以外で使用または配布することは禁じられています。

N-Markは米国およびその他の国におけるNFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。

PandoraおよびPandoraロゴとPandoraトレード・ドレスは、Pandora Media, Inc.の商標であり、許可を得て使用しています。

SiriusXM Internet Radioのサブスクリプション(別売)をご利用いただけるのは、アメリカ合衆国およびプエルトリコに居住する18歳以上の方のみです。アメリカ合衆国でSiriusXM Internet Radioのサブスクリプションを申し込むには、[www.sirius.com](http://www.sirius.com)にアクセスするか、1-888-539-7474までお電話ください。

SiriusXMおよび関連するすべてのマークおよびロゴは、Sirius XM Radio Inc.およびその子会社の商標です。All rights reserved.

SoundTouchおよび音符と無線電波を組み合わせたデザインは、米国および他の国々におけるBose Corporationの登録商標です。

この製品にはSpotifyソフトウェアが組み込まれており、次のサイトに掲載されたサードパーティのライセンスが適用されます。[www.spotify.com/connect/third-party-licenses](http://www.spotify.com/connect/third-party-licenses)

SpotifyはSpotify ABの登録商標です。

この製品は、Universal Electronics, Inc.のライセンスに基づき、UEI Technology™を使用して設計されています。© UEI 2000-2016

Wi-FiはWi-Fi Alliance®の登録商標です。

Windowsは、アメリカ合衆国および他の国々におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

Bose Corporation Headquarters: 1-877-230-5639

©2018 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複製、変更、配布、その他の使用は許可されません。

# 目次

---

## はじめに

内容物の確認.....	9
レイヤー 1.....	10
レイヤー 2.....	10
レイヤー 3.....	10
レイヤー 4.....	11
設置ガイド.....	12
システムの設置例.....	13

## システムのセットアップ

UNIFY®について.....	14
UNIFY®セットアップ.....	15

## リモコン操作

リモコンの概要.....	16
SOURCE ボタンについて.....	17
機能ボタン.....	17
音量の調節.....	17
MORE ボタンについて.....	17
AV OUTPUTメニュー.....	17
AV SETTINGSメニュー.....	18
バックライトボタン.....	18

## SoundTouch® appのセットアップ

SoundTouch® appをダウンロードしてインストールする.....	19
SoundTouch® オーナーサポートセンター.....	19

## SoundTouch®を既にお使いの方

既存のアカウントにシステムを追加する.....	20
システムを新しいネットワークに接続する.....	20

## プリセットのカスタマイズ

プリセットを設定する.....	21
プリセットを再生する.....	21
リモコンを使用してプリセットを設定する.....	21
リモコンを使用してプリセットを再生する.....	21

## Bluetooth® 接続

ペアリング方法を選択する.....	22
モバイル機器を接続する.....	22
NFCによる機器のペアリング.....	23
接続したモバイル機器をリモコンで操作する.....	23
モバイル機器のBluetooth機能を使用して接続する.....	23
リモコンを使用して接続する.....	24
モバイル機器の接続を解除する.....	24
別のモバイル機器をペアリングする.....	24
機器を再接続する.....	24
システムのBluetoothペアリングリストを消去する.....	24

## 高度な機能

Wi-Fi® 機能を無効にする.....	25
Wi-Fi機能を再度有効にする.....	25
システムソフトウェアを更新する.....	25

## 動作状態の確認

ステータスインジケータについて.....	26
コンソールのLEDインジケータ.....	26
Acoustimass® ベースモジュールのLEDインジケータ.....	27
ワイヤレスレシーバーのLEDインジケータ.....	27

## 補足事項

お手入れについて.....	28
お問い合わせ先.....	28
保証.....	28
仕様.....	28
SERVICE 端子.....	28

## 故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら.....	29
IRエミッターのセットアップ.....	32
音が出ることを確認する.....	33

## 付録A: 設置ガイド

コンソールの前面パネル.....	34
前面のヘッドホン/AUX入力端子.....	34
前面HDMI™入力.....	34
コンソールの背面パネル.....	34
OmniJewel™用ベースを取り付ける.....	35
フロントスピーカーを設置する.....	36
フロントスピーカーをコンソールに接続する.....	37
センタースピーカーにゴム足を取り付ける.....	37
センタースピーカーをコンソールに接続する.....	38
Acoustimass®ベースモジュールをコンソールに接続する.....	38
リアスピーカーを設置する.....	39
ワイヤレスレシーバーのスイッチを切り替える.....	40
リアスピーカーを接続する.....	40
リアスピーカーを電源に接続する.....	41
スピーカーの設置方法.....	41

## 付録B: システムのお手入れ

リモコンの電池を交換する.....	42
-------------------	----

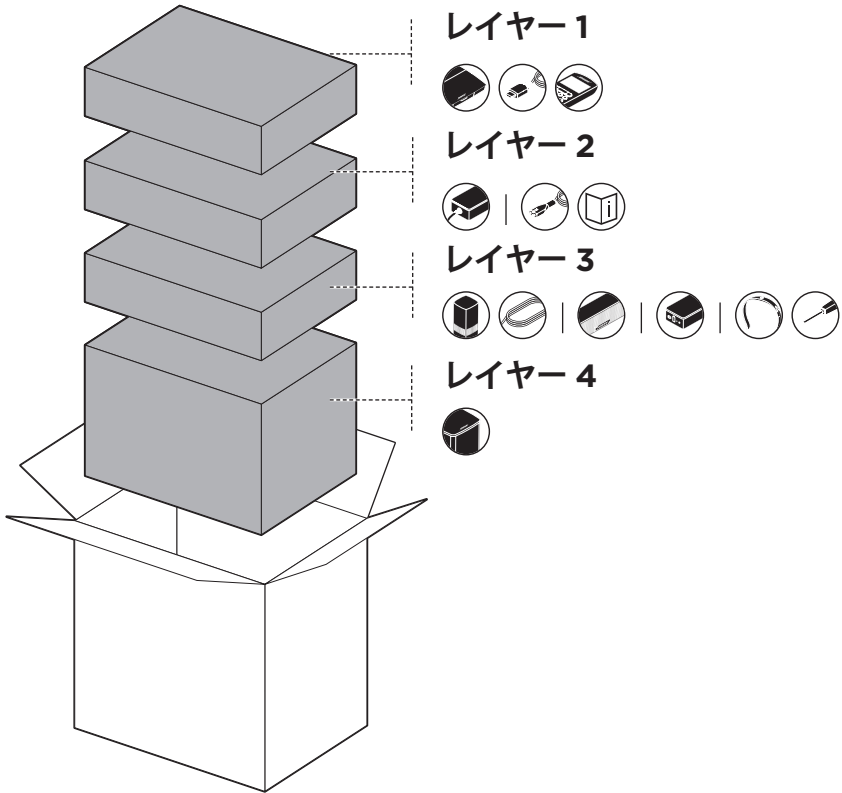
## 付録C: ケーブル接続による別のセットアップ方法

ワイヤレスレシーバーとコンソールをペアリングできない(リアスピーカー).....	43
--	----



## 内容物の確認

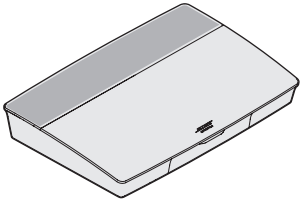
Lifestyle® Home Entertainment Systemの付属品は4つのレイヤーに分かれており、その中に小さな箱がいくつかあります。それぞれの箱には内容物を示すアイコンが付けられています。



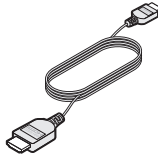
**注:** 万が一、開梱時に内容物の損傷や欠品などが発見された場合は、使用せず、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。

## レイヤー 1

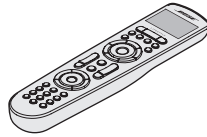
箱    から取り出すもの:



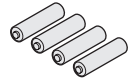
コンソール(1)



HDMI™ケーブル  
(1)



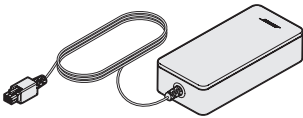
ユニバーサルリモコン  
(1)





単三乾電池  
(4)

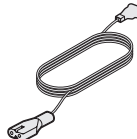
## レイヤー 2

箱  から取り出すもの:



コンソール用電源アダプター (1)

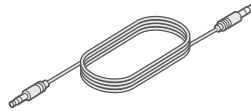
箱   から取り出すもの:



電源コード(4)\*





取扱説明書(1)



3.5 mmステレオ音声ケーブル(1)

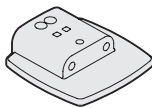
\*電源コードは2つ以上付属する場合があります。お使いの国・地域に適したものをお使いください。

## レイヤー 3

箱   から取り出すもの:



OmniJewel™  
スピーカー (4)



OmniJewel™用  
ベース(4)

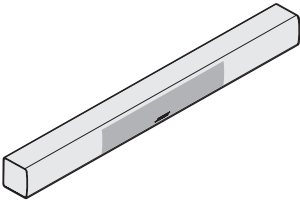


フロントスピーカー用  
ケーブル(1)

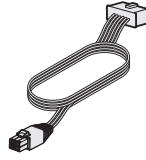


リアスピーカー用  
ケーブル(2)

箱  から取り出すもの:





OmniJewel™ センタースピーカー (1)

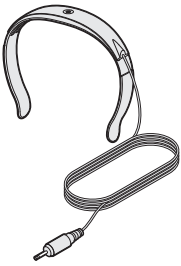


センタースピーカー用ケーブル(1)

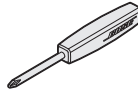


ゴム足(4)

箱   から取り出すもの:



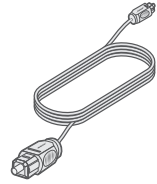
ADAPTIQ® 用ヘッドセット (1)



ドライバー (1)



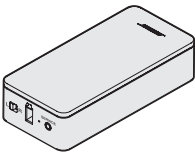
IR エミッター (1)



光ケーブル(1)

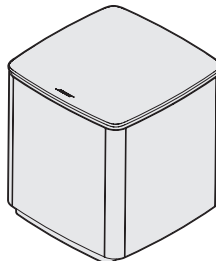
## レイヤー 4

箱  から取り出すもの:



ワイヤレスレシーバー (2)

箱  から取り出すもの:



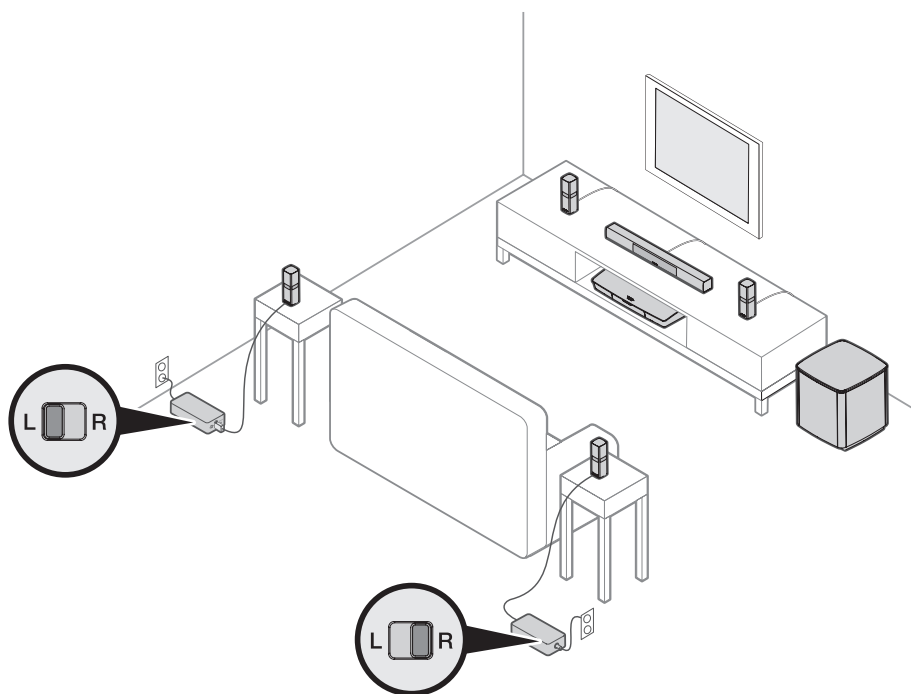
Acoustimass® ベースモジュール(1)

## 設置ガイド

無線の干渉を回避するために、ほかのワイヤレス機器から30～90 cmほど離れた場所に設置してください。金属製の家具や熱源などから離れた場所に設置してください。また、金属製の家具の中には置かないでください。

コンポーネント	推奨される設置方法
コンソール	<ul style="list-style-type: none"><li>コンソールはコンポーネントに近い場所に設置します。テレビに近い場所に設置することをおすすめします。</li><li>テレビや他のコンポーネントをコンソールの上に置かないでください。</li><li>コンソールは十分に換気の行き届いた場所に設置してください。</li><li>電源コンセントが近くにある場所に設置してください。</li></ul> <p><b>注:</b> システムの設置が完了するまで、コンソールの背面パネルに手が届く場所に仮置きします。</p>
Acoustimass® ベースモジュール	<ul style="list-style-type: none"><li>ゴム足のついたベースモジュールをテレビと同じ壁に沿って置くか、あるいは左右の壁沿いでテレビの近辺(テレビのある壁から見て部屋の3分の1以内の場所)に置きます。</li><li>安定した水平な面に設置してください。特に大理石やガラス、磨き上げた木などの滑りやすい表面では、音の振動でベースモジュールの位置がずれることがあります。</li><li>ベースモジュールの前面を壁や家具などから8 cm以上離してください。前面下部にある開口部が塞がれると、音響性能が低下する恐れがあります。</li><li>電源コンセントが近くにある場所に設置してください。</li></ul>
フロントスピーカー	<ul style="list-style-type: none"><li>テレビの両側に1台ずつスピーカーを設置します。</li><li>本棚のような囲まれた場所にスピーカーを置く場合は、棚の前面端に合わせて設置してください。</li></ul>
センタースピーカー	<ul style="list-style-type: none"><li>センタースピーカーにゴム足を取り付けて、テレビの上または下の安定した水平な場所に設置します。</li><li>ゴム足の取り付け方については、37ページをご覧ください。</li></ul>
リアスピーカー / ワイヤレスレシーバー	<ul style="list-style-type: none"><li>最高の音質を得るためには、リスナーの後方で耳より高い位置にリアスピーカーを設置します。リアスピーカー同士はできるだけ間隔をとって設置してください。</li><li>一方のワイヤレスレシーバーのスイッチが<b>L</b>(左)になっていることを確認します。</li><li>もう一方のワイヤレスレシーバーのスイッチが<b>R</b>(右)になっていることを確認します。</li><li>テレビに向かって、部屋の<b>左側</b>にスピーカーとL側のワイヤレスレシーバーを設置します。</li><li>テレビに向かって、部屋の<b>右側</b>にスピーカーとR側のワイヤレスレシーバーを設置します。</li><li>電源コンセントが近くにある場所にワイヤレスレシーバーを設置してください。</li></ul>

## システムの設置例




# UNIFY®について

---

ナビゲーションシステムUNIFY®は、画面上の指示を通してシステムのセットアップと設定の手順をご案内します。ケーブルと入力端子を正しく選択し、接続した機器を操作できるようにBose®リモコンをプログラムするための便利な機能です。

**注:** システムの設定には1時間ほどかかります。操作を始める前に、十分な時間があることをご確認ください。

メニュー項目	可能な操作
Bluetooth設定	Bluetooth機器を管理します。
機器の管理	別の機器またはアクセサリをシステムに追加します。
ネットワーク設定	システムをホームネットワークに接続します。
ソフトウェアの更新	システムソフトウェアを更新します。
電源の連動	リモコンの電源ボタン  をカスタマイズして、システム、テレビ、その他のHDMI接続機器の電源を同時にオン/オフすることができます。
自動オフ	音声信号がないまま20分が経過するとシステムの電源が自動的にオフになる機能を無効にします。
ヘッドホン端子	前面のヘッドホン/AUX入力端子のデフォルトの使用方法を設定します(34ページを参照)。
CEC設定	コンソールのCEC機能を調整します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• <b>Default On (デフォルト オン):</b> CEC機能が有効です</li><li>• <b>Alternate On (個別指定):</b> CEC対応機器が現在選択しているソースを変更できないようにします</li><li>• <b>Off (オフ):</b> CEC機能がオフです</li></ul>
ADAPTiQ®	ADAPTiQ自動音場補正を開始します。補正完了後は、このメニューからADAPTiQの有効/無効を切り替えることができます。
テレビのリモコン設定	本機のリモコンでテレビを操作できるように設定します。
テレビ音声の詳細設定	HDMI (ARC)機能の詳細を確認し、優先する使用方法を設定します。
スピーカー管理	システムのスピーカー設定を変更します。
言語の選択	画面表示の言語を選択します。
チュートリアル	SoundTouch®機能など、システムの主な機能に関する設定の手順を確認できます。
終了	UNIFYメニューを終了します。

## UNIFY® セットアップ

システムを初めてお使いになる前に、UNIFYセットアップで以下の初期設定を行います。

ステップ	目的
リモコンのペアリング	システムのリモコンをコンソールに接続します。
言語の選択	画面の一覧から言語を選択します。
ネットワークへの接続	ホームWi-FiネットワークまたはEthernetを選択して接続します。
ソフトウェアの更新	最新の機能を利用できるように、システムソフトウェアを更新します。
ケーブル接続スピーカー	フロントスピーカーとAcoustimass®ベースモジュールをコンソールに接続します。
ワイヤレススピーカー	リアスピーカーをコンソールにワイヤレスで接続します。
テレビの操作	システムのリモコンでテレビを操作できるように設定します。
接続機器の追加	追加する機器を接続します。
ADAPTiQ®セットアップ	システムが設置されている部屋の音響特性に合わせてシステムのサウンドをカスタマイズします。
チュートリアル	SoundTouch®機能など、システムのその他の機能に関する設定の手順を確認できます。

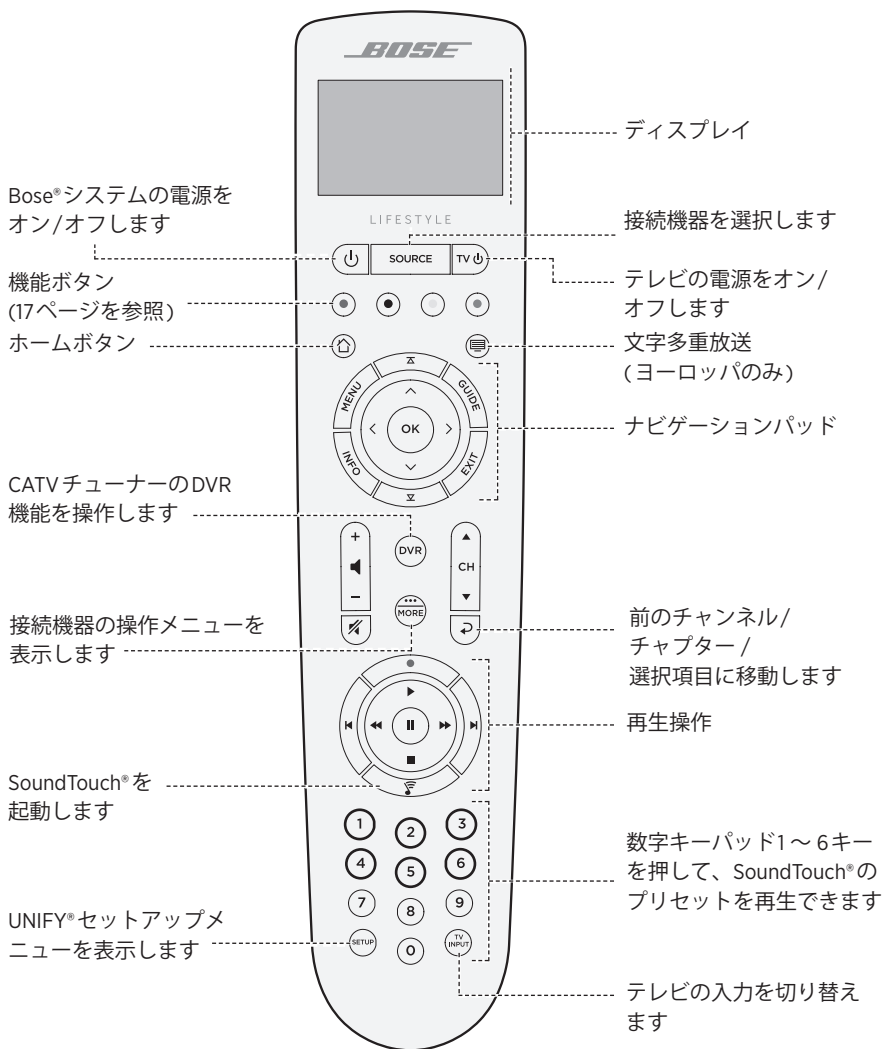
初期設定の終了後は、いつでもUNIFYメニューを表示してシステムの設定を変更できます。リモコンの **SETUP** ボタンを押すと、UNIFYセットアップが開始されます。

## リモコンの概要

最新のBose® RF (電波式)リモコンは、コンソールに向けなくても、お部屋のあらゆる場所からシステムを操作できます。

Lifestyle®システムを操作する際の主な情報はリモコンのディスプレイに表示されます。接続機器とシステムの設定はディスプレイで確認できます。

**注:** Boseリモコンでは、前面のHDMI™入力に接続した機器を操作することはできません。





---

## SOURCE ボタンについて

---

接続機器を切り替えるには、**SOURCE** ボタンを押します。接続機器の操作はリモコンのナビゲーションパッドで行います。

接続機器がハイライトされたら、**OK** ボタンを押して選択します。

---

## 機能ボタン

---

リモコンの赤、緑、黄、青の各ボタンは、CATV/衛星チューナーや文字多重放送のカラーボタンの機能に対応しています。

- **CATV/衛星チューナーの機能:** チューナーの取扱説明書をご覧ください。
- **文字多重放送:** 画面のページ番号、見出し、ショートカットなど、カラーボタンで操作できる機能に対応しています。(ヨーロッパのみ)

---

## 音量の調節

---

音量レベルはリモコンのディスプレイに表示されます。


- **+** ボタンを押すと、音量が上がります。
- **-** ボタンを押すと、音量が下がります。
- **🔇** ボタンを押すと、音がミュートまたはミュート解除されます。




**注:** システムをセットアップした後にテレビから音が聞こえる場合は、テレビの設定で内蔵スピーカーをオフにしてください。

---

## MORE ボタンについて

---

MORE ボタン  を押すと、現在選択しているソース機器専用の機能やその他のシステム操作機能をリモコンのディスプレイで選択できます。


1.  ボタンを押します。
2.  ボタンや  ボタンを押してリモコンのディスプレイに表示されている機能を選択します。
3. **OK** ボタンを押します。

---

## AV OUTPUT メニュー


---




AV OUTPUT メニューには、現在選択しているソース機器の現在のビデオ解像度、フレームレート、音声形式、音声チャンネル数が表示されます。

1. リモコンの  ボタンを押します。
2. **AV OUTPUT** を選択します。
3. **OK** ボタンを押します。
4. **EXIT** を押します。


## AV SETTINGSメニュー

AV SETTINGSメニューでは、一部のシステム設定を変更できます。表示される項目数は、現在選択しているソース機器によって異なります。メニューを表示するには、次の手順に従います。

1. リモコンの  ボタンを押します。
2. **AV SETTINGS** を選択します。
3. リモコンの **OK** ボタンを押すと、選択している機器のAV SETTINGSメニューが表示されます。
4. **▲** または **▼** ボタンを押して、変更するオプションを表示します。
5. **OK** ボタンを押して、設定を選択します。
6. 終了したら、**EXIT** を押します。

AV設定	目的
SYSTEM AV (システム設定)	システムの高音、低音、中域音、サラウンドの音量を調節します。
SOURCE AV (ソース設定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>AUDIO (オーディオ):</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ダイアログモードでは、台詞やナレーションが聞きやすくなります。</li> <li>- ムービーモードでは、ほとんどの状況に適したバランスの良い音が再生されます。</li> <li>- ナイトモードでは、音の大きな場面で台詞が聞き取りやすくなるように音量が調整されます。</li> <li>- ミュージックモードでは、音楽の再生に最適な状態に調整されます。</li> </ul> </li> <li>• <b>AV SYNC (AVシンク):</b> 音声の間こえるタイミングを調整し、映像の動きと音声を合わせます。</li> <li>• <b>AUDIO TRACK (音声トラック) - Advanced Audio Coding (AAC):</b> 複数の言語トラックから音声を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- <b>日本語音声のみ(デフォルト):</b> リモコンの  ボタンを押して、<b>[AV設定]&gt;[デバイスAV設定]&gt;[音声トラック]&gt;[主音声]</b>の順に選択します。</li> <li>- <b>英語音声のみ:</b> リモコンの  ボタンを押して、<b>[AV設定]&gt;[デバイスAV設定]&gt;[音声トラック]&gt;[副音声]</b>の順に選択します。</li> <li>- <b>両方の音声を聴く場合:</b> リモコンの  ボタンを押して、<b>[AV設定]&gt;[デバイスAV設定]&gt;[音声トラック]&gt;[主+副]</b>の順に選択します。</li> </ul> </li> </ul>
NOTIFICATION (通知)	有効にすると、入力が必要な場合にリモコンのディスプレイが点滅します。
RESTORE DEFAULTS (デフォルトに戻す)	オーディオの設定をデフォルト値に戻します。
REMOTE INFO (リモコン情報)	リモコンのシリアル番号とソフトウェアバージョンを表示します。

## バックライトボタン

リモコンの裏側にある  ボタンを押すとボタンのバックライトが点灯し、暗い場所でも操作しやすくなります。

SoundTouch® appは、スマートフォンやタブレット、パソコンなどからSoundTouch®の設定や操作をするためのソフトウェアです。このアプリを使用すると、スマートフォンやタブレットなどがコンソールのリモコンとして機能します。

このアプリからSoundTouch®の設定、音楽サービスの追加、世界中のインターネットラジオ局の選局、プリセットの設定と変更、音楽のストリーミング再生などが行えます。新しい機能も随時追加されます。

**注:** 既に別のシステムでSoundTouch®をセットアップしてある場合は、20ページをご覧ください。

## SoundTouch® appをダウンロードしてインストールする

---

スマートフォンやタブレットにBose® SoundTouch® appをダウンロードします。



### SoundTouch® app

- **Apple製品ユーザーの場合:** App Storeからダウンロードします。
- **Android™ユーザーの場合:** Google Play™ストアからダウンロードします。
- **Amazon Kindle Fireユーザーの場合:** Amazon Androidアプリストアからダウンロードします。



アプリに表示される手順に従い、Wi-Fiネットワークへのシステムの追加、SoundTouch®アカウントの作成、音楽ライブラリや音楽サービスの追加などのセットアップを完了します。

システムをホームWi-Fiネットワークに接続すると、同じネットワーク上にあるスマートフォンやタブレットなどからシステムを操作できます。

**ヒント:** コンソールに接続するすべてのデバイスで同じSoundTouch®アカウントを使用する必要があります。

**注:** システムを既にWi-Fiネットワークに追加している場合は、アプリに指示が表示されたらシステムはすでにネットワークに接続されていますを選択します。

## SoundTouch® オーナーサポートセンター

---

 [global.Bose.com/Support/LS650](https://global.Bose.com/Support/LS650)

オーナーサポートセンター Webサイトにアクセスすると、取扱説明書や製品に関する記事、ヒント、チュートリアル、ビデオライブラリなどが用意されており、オーナー同士で質問を投稿したり回答したりできるコミュニティ(英語のみ)があります。

## 既存のアカウントにシステムを追加する

---

既に別のシステムでSoundTouch®をセットアップしてある場合は、SoundTouch® appを再度ダウンロードする必要はありません。

アプリで **☰** > **[設定]** > **[スピーカーの追加または再接続]**の順に選択します。

セットアップの手順はアプリに表示されます。

## システムを新しいネットワークに接続する

---

ネットワークの設定情報を変更した場合は、新しいネットワークにシステムを追加します。追加するには、システムをセットアップモードに切り替えます。

1. アプリで **☰** > **[設定]** > **[スピーカーの設定]**の順に選択して、本システムを選択します。
2. **[スピーカーの接続]**を選択します。

セットアップの手順はアプリに表示されます。

6つのプリセットには、お気に入りの音楽ストリーミングサービス、インターネットラジオ放送局、音楽ライブラリのプレイリスト、アーティスト、アルバム、曲などを自由に登録できます。SoundTouch® appのボタンをタッチするだけで、音楽をいつでも簡単に再生できます。

プリセットを使用する際は、次の点にご注意ください。

- プリセットは、アプリとリモコンのどちらからでも設定できます。
- 音楽ライブラリをプリセットに登録している場合は、音楽ライブラリを保存しているパソコンの電源がオンになっていて、SoundTouch® コンソールと同じネットワークに接続されている必要があります。
- BluetoothのストリーミングやAUX端子に接続したモバイル機器をプリセットに設定することはできません。

## プリセットを設定する

---

1. アプリを使用して音楽をストリーミング再生します。
2. 音楽を再生しているときに、アプリのプリセットボタンを長押しします。


## プリセットを再生する

---

プリセットを設定したら、アプリのプリセットボタンを押して再生できます。


## リモコンを使用してプリセットを設定する

---

1. リモコンの  ボタンを押して、SoundTouchソースに切り替えます。
2. 数字キーパッドの1～6キーを長押しすると、新しいプリセットが割り当てられます。  
新しいプリセットが割り当てられると、ピープ音が聞こえます。

## リモコンを使用してプリセットを再生する

---

1. アプリを使用して、お気に入りのインターネットラジオ局をプリセットに登録します。
2. リモコンの **SoundTouch®** ボタン  を押して、SoundTouchソースに切り替えます。
3. 数字キーパッドの1～6キーを押して、プリセットを選択します。

## BLUETOOTH 接続

---

Bluetoothワイヤレステクノロジーにより、Bluetooth対応のスマートフォン、タブレット、パソコン、その他のオーディオ機器の音楽を本製品でワイヤレス再生することができます。モバイル機器の音楽を本製品でワイヤレス再生するには、あらかじめモバイル機器とコンソールを接続する必要があります。

### ペアリング方法を選択する

モバイル機器とコンソールをペアリングするには、Bluetoothワイヤレステクノロジーを利用する方法と、Near Field Communication (NFC)機能を利用する方法があります。

#### NFCについて

NFCは、対応機器同士をタッチするだけでワイヤレス通信を確立する機能です。お使いの機器がNFCに対応しているかどうかは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

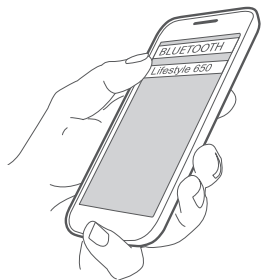
お使いの機器がNFCに対応しているかわからない場合:	「モバイル機器を接続する」の説明に従ってください。
お使いの機器がNFCに対応している場合:	「NFCによる機器のペアリング」(23ページ)の説明に従ってください。

注: お使いのモバイル機器がNFCによるBluetoothペアリングに対応している場合は、どちらの方法でもペアリングできます。

## モバイル機器を接続する

---

1. リモコンの SOURCE ボタンを押して、リモコンのディスプレイから **Bluetooth** を選択します。
2. 画面の手順に従って、コンソールをペアリングモードに切り替えます。
3. SoundTouch® appのデバイストレイから本システムを選択します。
4. **Bluetooth** を選択します。
5. **【接続】**を選択します。
6. モバイル機器のデバイスリストからLifestyle®システムを選択します。

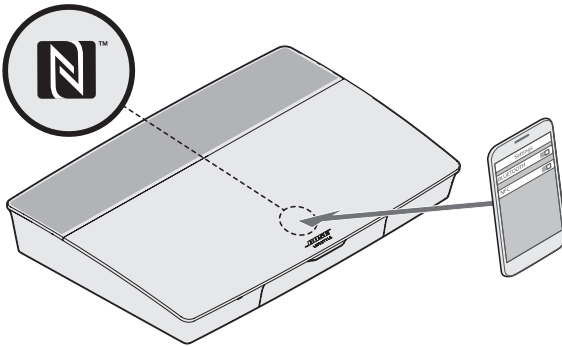


**ヒント:** アプリでシステムに付けた名前を探してください。システムに名前を付けていない場合は、デフォルトの名前が表示されます。

接続すると、デバイスリストに本システムが「接続済み」と表示されます。

## NFCによる機器のペアリング

1. システムの電源をオンにします。モバイル機器のロックを解除して、Bluetooth機能とNFC機能をオンにします。この機能の詳細については、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。
2. モバイル機器のNFCタッチポイントをLifestyle® コンソールの天面にあるBose® ロゴの上の部分に当てます。  
モバイル機器によっては、ペアリングの同意を求める音声やメッセージが出る場合もあります。



## 接続したモバイル機器をリモコンで操作する

ペアリングしたモバイル機器はリモコンで操作することができます。SOURCEメニューから**Bluetooth**を選択します。機器の接続方法については、22ページをご覧ください。

リモコンを使用して、システムの次のようなBluetooth機能を操作できます。

- モバイル機器をペアリングして接続します。
- アーティスト情報を表示できます。
- 音楽の再生操作を行えます(再生、一時停止、停止、次のトラックへのスキップなど)。
- ペアリングリストを消去できます。

## モバイル機器のBluetooth機能を使用して接続する

1. モバイル機器のBluetooth機能をオンにします。  
**ヒント:** 通常、Bluetoothメニューは設定メニューにあります。
2. モバイル機器のデバイスリストから本システムを選択します。

### リモコンを使用して接続する

---

モバイル機器の音楽をコンソールでストリーミング再生できます。

1. モバイル機器のBluetooth機能をオンにします。
2. リモコンで、**SOURCE** メニューからBluetoothを選択します。  
コンソールは、最後にストリーミング再生していたモバイル機器に接続します。
3. モバイル機器で音楽を再生します。

### モバイル機器の接続を解除する

---

モバイル機器のBluetooth機能をオフにします。

### 別のモバイル機器をペアリングする

---

別の機器をペアリングするには、**SETUP** ボタンを押して[Bluetooth設定]を選択します(14ページを参照)。

### 機器を再接続する

---

- コンソールの電源を入れると、最後に接続していたモバイル機器に再接続します。  
**注:** モバイル機器が通信範囲内にあり、電源がオンになっている必要があります。
- モバイル機器がNFCに対応している場合は、機器のNFCタッチポイントをコンソールの天面にあるBose®ロゴの上の部分に当てます。

### システムのBluetoothペアリングリストを消去する

---

アプリで **≡** > [設定] > [スピーカーの設定] > [スピーカーを選択] > [Bluetooth®] > [Bluetooth®ペアリングリストの消去] > [消去]の順に選択します。

ペアリングリストが消去されます。

コンソールでシステムのペアリングリストを消去することもできます。

1. **SETUP** ボタンを押します。
2. [Bluetooth設定]を選択します。
3. [Bluetoothペアリングリストの消去]を選択します。



## Wi-Fi機能を無効にする

---

1. コンソールの **SOURCE** ボタンを10秒間長押しします。
2. **SOURCE** ボタンを放します。

## Wi-Fi機能を再度有効にする

---

システムの電源をオンにすると、Wi-Fi機能が自動的に有効になります。

## システムソフトウェアを更新する

---

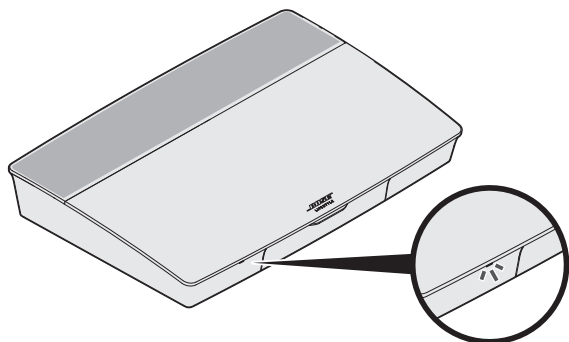
ホームネットワークに接続されている場合、システムは電源をオンにするたびにソフトウェアの更新を確認します。更新が利用できる場合は、ダウンロードが自動的に開始されます。

更新データが完全にダウンロードされると、コンソールの電源をオフにするときに、更新の準備ができましたというメッセージが画面に表示されます。更新がインストールされると、システムは自動的にシャットダウンします。

## ステータスインジケータについて

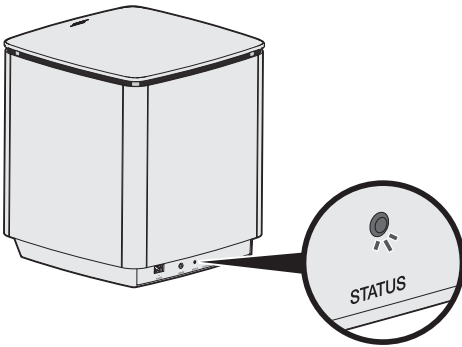
コンソールの前面にあるLEDインジケータには、システムの状態が表示されます。システムの状態に応じて、LEDの点灯状態が変わります。

### コンソールのLEDインジケータ



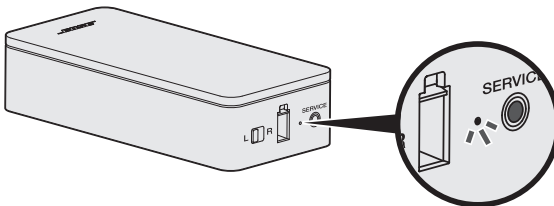
インジケータの表示	システムの状態
消灯	システムがオフです
白の点滅	システムをオンにしています
白の点灯	システムを使用できます
オレンジの点滅	システムソフトウェアのアップデートをダウンロードしています
オレンジの点灯	ネットワークに接続していません
赤の点灯	ファームウェアエラー、カスタマーサービスに連絡してください

## Acoustimass® ベースモジュールのLEDインジケーター



インジケーターの表示	システムの状態
白の点灯	コンソールに接続されています
オレンジの点灯(暗い)	省電力モード
白の点滅	コンソールへの接続が解除されています
赤の点滅	ファームウェアエラー、カスタマーサービスに連絡してください


## ワイヤレスレシーバーのLEDインジケーター



インジケーターの表示	システムの状態
オレンジの点滅	ペアリングができます
白の点灯	コンソールに接続されています
オレンジの点灯(暗い)	コンソールへの接続が解除されています
白の点滅	システムソフトウェアのアップデートをダウンロードしています
赤の点滅	ファームウェアエラー、カスタマーサービスに連絡してください

## お手入れについて

---

 システムの上に液体がこぼれたり、開口部に液体が入り込んだりしないようにしてください。

- システムの外装は付属のクリーニングクロスや柔らかい布でから拭きしてください。
- システムの近くでスプレー等を使用しないでください。
- 溶剤、化学薬品、またはアルコール、アンモニア、研磨剤などを含むクリーニング液は使用しないでください。
- 開口部に異物が入り込まないようにしてください。

## お問い合わせ先

---

本製品に関するご不明点は以下までお願いいたします。

- 弊社Webサイト: [global.Bose.com/Support/LS650](http://global.Bose.com/Support/LS650)
- Boseカスタマーサービス: (電話: 0570-080-021、平日 9:30 ~ 17:00 土・日・祝日・年末年始を除く)

## 保証

---

製品保証の詳細は弊社Webサイトをご覧ください。

製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイトから簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

## 仕様

---

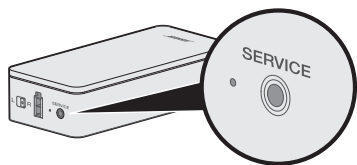
米国/カナダ/その他の国々:

- **コンソール**: 10VDC 3.3A、44VDC 1.25A
- **ワイヤレスレシーバー**: 100 ~ 240V 50/60 Hz、30W
- **Acoustimass® ベースモジュール**: 100 ~ 240V ~ 50/60 Hz、180W

## SERVICE 端子

---

SERVICE 端子はサービス専用です。この端子にケーブルを接続しないでください。




ホームエンターテイメントシステムに問題が生じた場合は、下記の点をご確認ください。

- すべてのシステムコンポーネントが電源に接続されていることを確認します。
- すべてのケーブルをしっかりと接続します。
- システムのステータスインジケータの状態を確認します(26ページを参照)。
- システムを干渉源になるような電気製品(無線ルーター、コードレス電話、テレビ、電子レンジなど)から離します。
- 正しく動作するように、システムが無線ルーターやモバイル機器の推奨通信範囲内にあることを確認します。


問題が解決しない場合は、次の表を参照して一般的な問題の症状と対処方法をご確認ください。それでも問題が解決できない場合は、Boseカスタマーサービスまでお問い合わせください。

## 故障かな？と思ったら

次の表には、一般的な問題の症状と、考えられる対処方法が記載されています。


症状	対処方法
リモコンを初めて使用したとき、システムが応答しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コンソールの前面にある<b>電源ボタン</b>  を押して、手で電源を入れます。</li> <li>• リモコンのいずれかのボタンを押します。コンソールのステータスインジケータを確認します。リモコンのボタンを押すたびにインジケータが点滅します。</li> <li>• リモコンに電池が正しく入っていることを確認して、必要に応じて新しい電池に交換してください(42ページを参照)。</li> <li>• コンソールの電源コードを抜き、30秒間待ってから、通電している電源コンセントにしっかりと差し込みます。</li> </ul>
初期設定で接続した機器をリモコンで操作できない	IRエミッターを接続します(32ページを参照)。
テレビから音が聞こえる	テレビの設定メニューから、テレビの内蔵スピーカーをオフにします。
最適なインターフェイスで映像機器を接続したい	コンソールの <b>SETUP</b> ボタンを押して、その機器の設定オプションを選択します。画面に表示される手順に従い、映像機器の接続を変更してください。
システムが反応しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>SOURCE</b> メニューから接続機器を選択します。</li> <li>• コンソールの電源コードを抜き、30秒間待ってから、通電している電源コンセントにしっかりと差し込みます。</li> </ul>
HDMI (ARC) 機能に関する問題	<p>システムのHDMI™ケーブルがテレビの<b>ARC</b>または<b>Audio Return Channel</b>と表示されている端子に接続されていることを確認します。</p> <p>テレビにHDMI ARC端子がない場合は、リモコンの <b>SETUP</b> ボタンを押して、UNIFYメニューから[<b>テレビ音声の詳細設定</b>]を選択します(14ページを参照)。</p>

## 故障かな？と思ったら

症状	対処方法
CEC機能に関する問題	<p>コンソールがテレビのHDMI ARC端子に接続されている場合は、テレビのシステムメニューで<b>Consumer Electronics Control (CEC)</b>機能が有効になっていることを確認します。CEC機能はメーカーによって別の名称で呼ばれていることがあります。</p> <p>詳しい情報を確認するには、テレビの取扱説明書を参照するか、リモコンの<b>SETUP</b> ボタンを押して、UNIFY®メニューから<b>[CEC設定]</b>を選択します(14ページを参照)。</p>
接続機器の電源がオンにならない	<p>リモコンの<b>SETUP</b> ボタンを押して、UNIFY®メニューから<b>[CEC設定]</b>を選択し、<b>[Alternate On (個別指定)]</b>に設定します(14ページを参照)。</p>
システムから音が出ない	<ul style="list-style-type: none"><li>• 音量を上げます。</li><li>• リモコンの<b>ミュート</b>ボタン  を押して、システムが消音状態でないことを確認します。</li><li>• 機器を正しく選択していることを確認します。</li><li>• 機器を切り替えて別の接続機器で試してみます。</li><li>• HDMI™ケーブルがテレビの<b>ARC</b>または<b>Audio Return Channel</b>と表示されている端子に接続されていることを確認します。テレビにHDMI ARC端子がない場合は、HDMIケーブルのほかに音声ケーブルを使用します。</li><li>• 追加の音声ケーブルを使用する場合は、テレビの音声出力(<b>Output</b>または<b>OUT</b>)端子に接続します。</li><li>• コンソールの電源コードを抜き、30秒間待ってから、通電している電源コンセントにしっかりと差し込みます。</li></ul>
ネットワークのセットアップを完了できない	<ul style="list-style-type: none"><li>• 正しいネットワーク名を選択して、パスワードを入力します(大文字と小文字を区別して入力してください)。</li><li>• モデムとルーターを再起動します。</li><li>• Ethernetケーブルを使用してネットワークに接続します。</li></ul>
SoundTouch® のセットアップを完了できない	<ul style="list-style-type: none"><li>• モバイル機器とシステムを同じWi-Fiネットワークに接続します。</li><li>• システムを既にWi-Fiネットワークに追加している場合は、アプリに指示が表示されたら<b>システムはすでにネットワークに接続されています</b>を選択します。</li><li>• セットアップに使用するモバイル機器のWi-Fi機能を有効にします。</li><li>• インターネット接続を確認します。</li><li>• モバイル機器を再起動します。</li><li>• モデムとルーターを再起動します。</li><li>• アプリをアンインストールして再インストールし、システムを出荷時の設定に戻してから、セットアップをやり直します。</li></ul>
低音が強すぎる/弱すぎる	<ul style="list-style-type: none"><li>• システムの低音を調整します(18ページを参照)。</li><li>• ADAPTiQ®自動音場補正を実行します(15ページを参照)。</li><li>• ベースモジュールを壁や部屋の隅から離します。</li></ul>

症状	対処方法
ワイヤレスレシーバーのステータスLEDがオレンジに暗く点灯している	<ul style="list-style-type: none"> <li>画面のトラブルシューティング指示に従います。</li> <li>コンソールまたはリモコンの <b>SETUP</b> ボタンを押して、UNIFY®セットアップをやり直します(15ページを参照)。</li> <li>レシーバーの電源コードを抜き、30秒間待ってから、通電している電源コンセントにしっかりと差し込みます。</li> <li>リアスピーカーをケーブルで接続します(43ページを参照)。</li> </ul>
音が歪む	<ul style="list-style-type: none"> <li>機器を切り替えて別の接続機器で試してみます。</li> <li>コンソールに接続されている機器の音量を下げてください。</li> <li>接続機器の音声入力ケーブルに傷などがなく、正しく接続されていることを確認します。</li> <li>ADAPTIQ®自動音場補正をまだ実行していない場合は、UNIFY®メニューから<b>ADAPTIQ®</b>を選択します(14ページを参照)。</li> <li>コンソールの電源コードを抜き、30秒間待ってから、通電している電源コンセントにしっかりと差し込みます。</li> </ul>
接続機器からの音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続機器の電源をオンにします。</li> <li>機器を切り替えて別の接続機器で試してみます。</li> <li>接続機器の取扱説明書をご覧ください。</li> </ul>
音声は聞こえるが、テレビ画面に映像が出ない	テレビの映像入力の選択を確認し、正しい映像機器が選択されていることを確認します。
接続機器をリモコンで正しく操作できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>機器とコンソールの間に障害物がないことを確認します。</li> <li>機器を再セットアップしてください。コンソールの <b>SETUP</b> ボタンを押し、接続した機器の設定(リモコンの設定)を選択して、画面に表示される手順に従って機器を再セットアップします。</li> <li>リモコンの電池を交換します(42ページを参照)。</li> <li>IRエミッターをセットアップします(32ページを参照)。</li> </ul>
同軸デジタル音声接続機器の音声か断続的に途切れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンソールと同軸デジタル音声接続機器に音声ケーブルが正しく接続されていることを確認します。</li> <li>機器を切り替えて別の接続機器で試してみます。</li> <li>機器を再セットアップしてください。コンソールの <b>SETUP</b> ボタンを押し、同軸デジタル音声接続機器の設定を選択して、画面に表示される手順に従って機器を再セットアップします。</li> <li>コンソールの電源コードを抜き、30秒間待ってから、通電している電源コンセントにしっかりと差し込みます。</li> </ul>
リモコンの一部のボタンでテレビや接続機器の対応する機能を操作できない	リモコンの <b>SETUP</b> ボタンを押して、[テレビのリモコン設定]>[詳細設定]の順に選択します。
ネットワークの接続情報または機器自体を変更した	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>SETUP</b> ボタンを押して、[ネットワーク設定]を選択します。</li> <li>ネットワーク情報を変更した場合や、システムを別のネットワークに接続する場合は、SoundTouch® appのヘルプを参照してください。</li> <li>ワイヤレス接続に問題がある場合は、Ethernetケーブルを使用してネットワークに接続します。</li> </ul>



## 故障かな？と思ったら

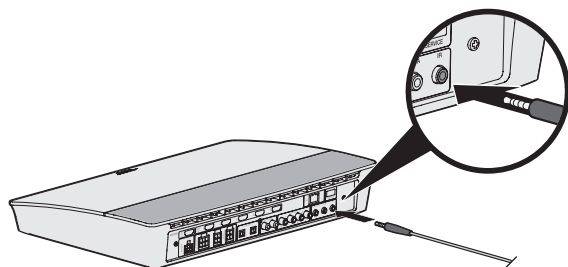
症状	対処方法
Bluetooth機器の音楽を再生できない	<p>システムでの操作:</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• システムのBluetooth画面からモバイル機器をペアリングします。</li><li>• リモコンを使用して、システムのペアリングリストを消去します。<ul style="list-style-type: none"><li>- Bluetoothに切り替えたら、リモコンの<b>MORE</b>ボタン  を押します。</li><li>- [ペアリングリストの消去]を選択します。</li></ul></li><li>• 別のモバイル機器をペアリングしてみてください。</li></ul> <p>モバイル機器での操作:</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• Bluetooth機能を無効にしてから、再度有効にします。</li><li>• Bluetoothメニューのペアリングリストから本システムを削除します。ペアリングし直します。</li><li>• モバイル機器の取扱説明書をご参照ください。</li><li>• 「システムから音が出ない」(30ページ)をご覧ください。</li></ul>

## IRエミッターのセットアップ

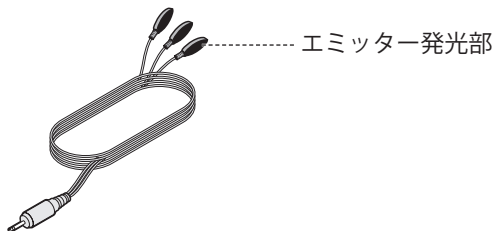
リモコンと接続機器の反応に問題がある場合は、付属のIRエミッターをお使いください。

**注:** IRエミッターは、他社製機器をリモコンで操作できない場合にのみ使用してください。

1.   の箱からIRエミッターを取り出します。
2. コンソールの背面にある**IR**端子にエミッターを接続します。



3. エミッターに付属のシートから両面粘着テープを剥がし、エミッター発光部の平らな底面に貼り付けます。



4. 両面粘着テープの保護シートを剥がします。



5. 接続機器を収納しているキャビネットの中や機器本体の前にIRエミッターを貼り付けます。リモコンの反応を確認します。問題が解決しない場合は、IRエミッターの位置を変えて再度お試しください。

## 音が出ることを確認する

---

1. テレビの電源をオンにします。
2. CATV/衛星チューナーやその他の外部機器を使用する場合：
  - 接続機器の電源をオンにします。
  - 外部機器をテレビに接続している場合は、適切なテレビ入力を選択します。
3. コンソールの電源をオンにします。

接続機器の音がベースモジュールから聞こえます。

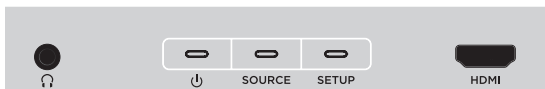
**注：**ベースモジュールから音が出ない場合は、30ページの「故障かな？と思ったら」をご覧ください。

## コンソールの前面パネル

コンソールの前面には以下の端子があります。

- ヘッドホン
- HDMI™入力

デバイスを接続すると、**SOURCE** メニューに[AUX INおよびHDMI (前面)]と表示されます。これらの入力には、デジタルカメラ、ビデオカメラ、メディアプレーヤー、モバイル機器などを必要に応じて接続できます。



### 前面のヘッドホン/AUX入力端子

この3.5 mmステレオ音声端子には、ヘッドホンを接続したり、モバイル機器を接続して音楽を再生したりできます。デフォルトではヘッドホン用に設定されています。

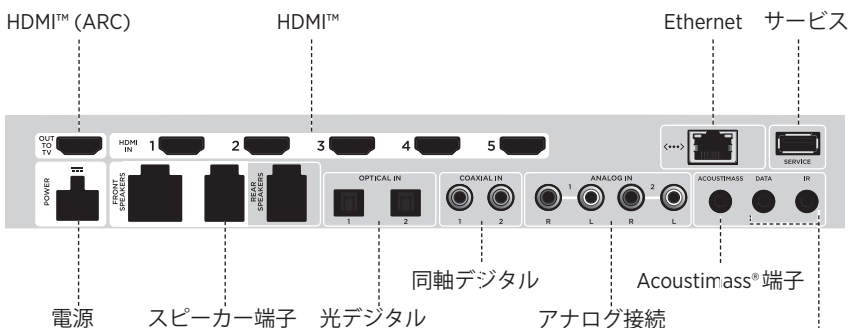
AUX IN端子として使用する場合は、リモコンの **SETUP** ボタンを押して、画面のメニューから[ヘッドホン端子]を選択します。デバイスを接続したら、**SOURCE** メニューから[AUX IN]を選択します。

### 前面HDMI入力

この入力には、HDMI出力を備えた機器を接続できます。

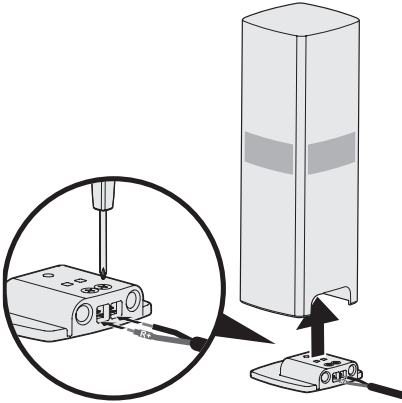
**注:** Bose リモコンでは、前面のHDMI™入力に接続した機器を操作することはできません。

## コンソールの背面パネル

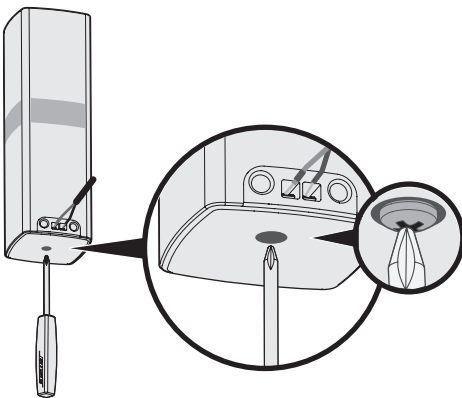


## OmniJewel™用ベースを取り付ける

1. ドライバーを使用して、ネジを左(反時計回り)に回してベースの端子を緩めます。
2. **フロントスピーカーの場合:** 4芯ケーブルの先バラ線の赤い方(L+またはR+マークのあるもの)をOmniJewel™用ベースの赤の+端子に、マークのないものをシルバーの-端子に差し込みます。  
**リアスピーカーの場合:** 2芯ケーブルの先バラ線の赤い方(+マークのあるもの)をOmniJewel™用ベースの赤の+端子に、マークのないものをシルバーの-端子に差し込みます。



3. プラスドライバーを使用して、ベース上面のネジを右(時計回り)に回してケーブルを端子に固定します。
4. OmniJewel™スピーカーを持ち、スピーカーの下にベースを置きます。  
ケーブル端子が後ろ側になるようにして取り付けると、ベースはスピーカーにぴったりとはまります。
5. プラスドライバーを底面の穴に差し込み、ネジがしっかり締まるまで右(時計回り)に回して、ベースをスピーカーに固定します。





## フロントスピーカーを設置する

UNIFY®セットアップでは、「ケーブル接続スピーカー」のステップでフロントスピーカーの設置手順をご案内します(15ページを参照)。

セットアップを完了した後でシステムを移動する場合は、以下の手順に従って、ホームエンターテインメントシステムのフロントスピーカーを再設定してください。

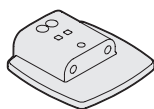
**注意:** コンソールが電源に接続されている場合は、スピーカーの接続作業を行わないでください。

### 必要となるもの:

箱   から取り出すもの:



OmniJewel™  
スピーカー (2)



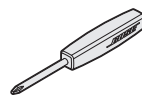
OmniJewel™用  
ベース (2)



フロントスピーカー用  
ケーブル (1)

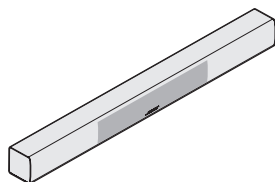


箱   から取り出すもの:

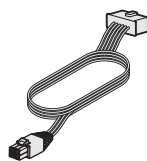


ドライバー (1)

箱  から取り出すもの:



OmniJewel™センタースピーカー (1)

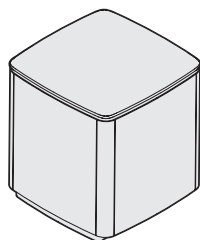


センタースピーカー用ケーブル (1)





ゴム足 (4)

箱  から取り出すもの:



Acoustimass®ベースモジュール (1)

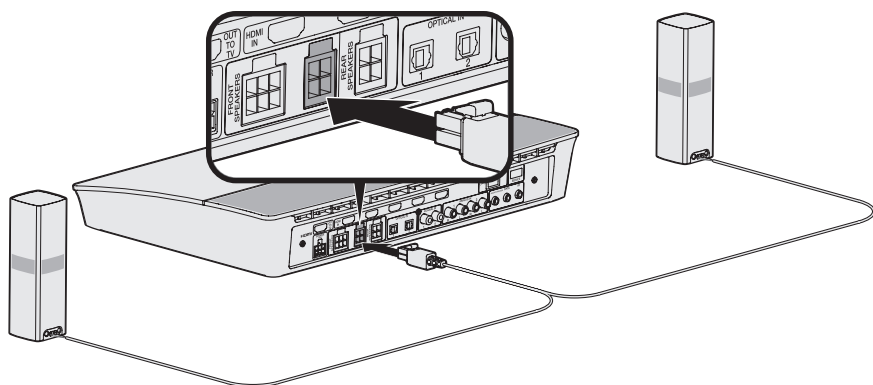
箱   から取り出すもの:




3.5 mmステレオ音声ケーブル (1)

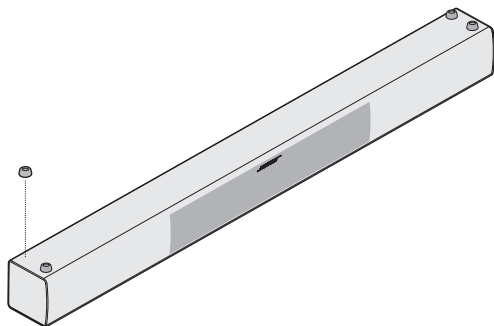
## フロントスピーカーをコンソールに接続する

1. 「設置ガイド」(12ページ)に沿ってスピーカーを設置します。
2. OmniJewel™用ベースにケーブルを接続してOmniJewel™スピーカーに取り付けます(35ページを参照)。
3. 4芯ケーブルのコネクターをコンソール背面の4ピン**FRONT SPEAKERS**端子に接続します。




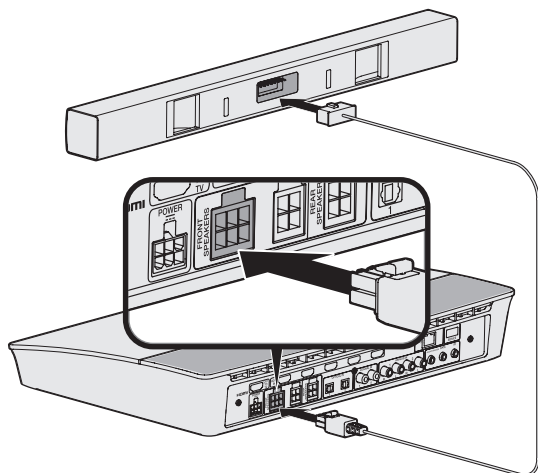
## センタースピーカーにゴム足を取り付ける

1. 箱  からゴム足を取り出します。
2. センタースピーカーをひっくり返し、柔らかいタオルなどを敷いた場所に置きます。
3. ゴム足から保護フィルムを剥がします。
4. センタースピーカー底面の両端にゴム足を取り付けます。



## センタースピーカーをコンソールに接続する

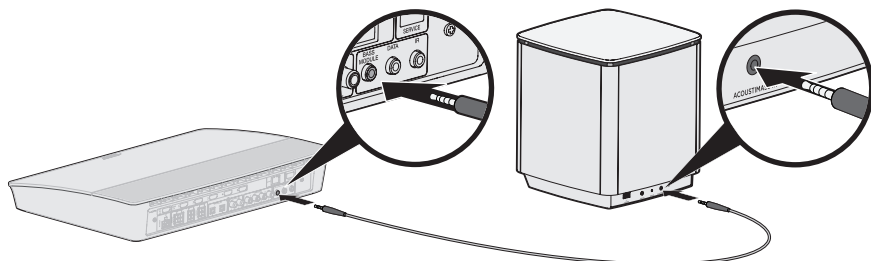
1. 箱  からセンタースピーカー用ケーブルを取り出します。
2. 「設置ガイド」(12ページ)に沿ってセンタースピーカーを設置します。
3. センタースピーカー用ケーブルをセンタースピーカーの背面に差し込みます。



4. 6芯ケーブルのコネクターをコンソール背面の6ピン **FRONT SPEAKERS** 端子に接続します。

## Acoustimass® ベースモジュールをコンソールに接続する

1. 3.5 mmステレオ音声ケーブルの一方を、ベースモジュールの背面にある **ACOUSTIMASS IN** 端子に接続します。
2. ケーブルのもう一方を、コンソールの背面にある **ACOUSTIMASS** 端子に接続します。



## リアスピーカーを設置する



UNIFY®セットアップでは、「ワイヤレススピーカー」のステップでリアスピーカーの設置手順をご案内します(15ページを参照)。

セットアップを完了した後でシステムを移動する場合は、以下の手順に従って、ホームエンターテインメントシステムのリアスピーカーを再設定してください。

**注:** リアスピーカーとコンソールをペアリングできない場合は、カスタムスピーカーケーブル(別売)を使用して直接システムに接続することもできます。

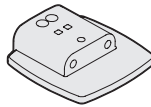
詳しい手順については、43ページをご覧ください。

### 必要となるもの:

箱   から取り出すもの:



OmniJewel™スピーカー (2)

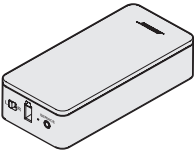


OmniJewel™用ベース(2)



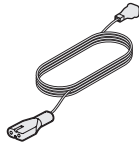
リアスピーカー用ケーブル(2)

箱  から取り出すもの:



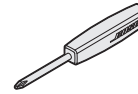
ワイヤレスレシーバー (2)

箱   から取り出すもの:



電源コード(2)

箱   から取り出すもの:

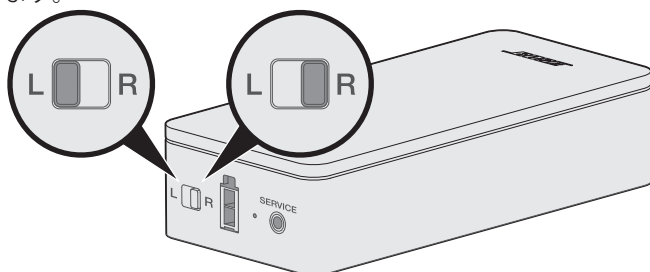


ドライバー (1)

## ワイヤレスレシーバーのスイッチを切り替える

リアスピーカーは、接続されたワイヤレスレシーバーを介してコンソールと通信します。レシーバーは工場出荷時にあらかじめL(左)側とR(右)側のチャンネルに設定されています。チャンネルの設定は、レシーバーの前面にあるスイッチを切り替えることによって変更できます。

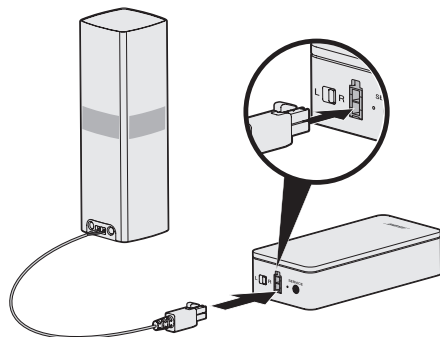
1. 一方のワイヤレスレシーバーのスイッチが**L(左)**になっていることを確認します。
2. もう一方のワイヤレスレシーバーのスイッチが**R(右)**になっていることを確認します。



**注:** 必ず、1台のワイヤレスレシーバーを**L(左)**チャンネルに、もう1台を**R(右)**チャンネルに設定してください。

## リアスピーカーを接続する

1. 「設置ガイド」(12ページ)に沿ってスピーカーを設置します。
2. OmniJewel™用ベースにケーブルを接続してOmniJewel™スピーカーに取り付けます(35ページを参照)。
3. 2芯ケーブルの反対側をワイヤレスレシーバーに差し込みます。  
しっかり差し込むと、カチッと音が聞こえるか、指先に感触があります。

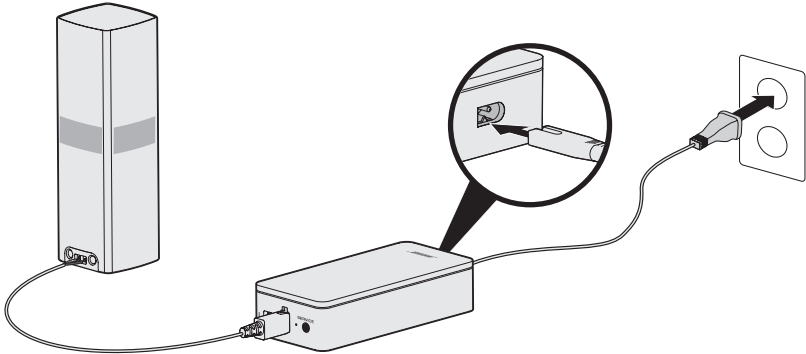


4. 手順1～3を繰り返して、もう一方のスピーカーも接続します。



## リアスピーカーを電源に接続する

1. 電源コードの片側をワイヤレスレシーバーに接続します。
2. 電源コードの反対側を壁のコンセントに差し込みます。



3. 手順1と2を繰り返して、もう一方のスピーカーも接続します。

## スピーカーの設置方法

スピーカーは、壁掛けブラケット、フロアスタンド、またはテーブルスタンドにも設置できます。これらのアクセサリにつきましては、お近くのボーズ製品取扱店、または弊社Webサイトでお求めください。

### 注意:

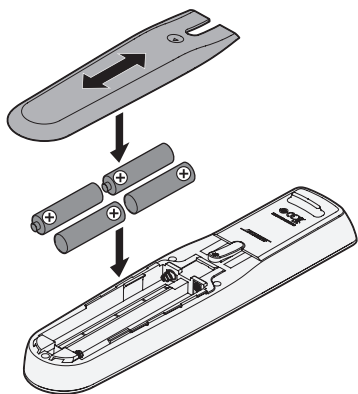
- スピーカーを設置する際は、ボーズ純正のアクセサリのみを使用してください。純正以外のアクセサリを使用すると、システムやコンポーネントを破損する恐れがあります。
- この製品に付属するスピーカーワイヤーおよび機器間接続ケーブルは、壁面埋め込み向けではありません。壁面埋め込み配線を行う際は、お住まいの地域の法令等に準拠したケーブルや施工法をご確認ください。詳しくは専門の施工業者にご相談ください。

## リモコンの電池を交換する

---

リモコンの使用範囲が著しく狭くなった場合は、電池を4本とも交換します。

1. リモコンの裏側にある電池カバーをスライドして開きます。
2. 単三形アルカリ乾電池4本を入れます。電池ケースに表示されている+と-の向きと、乾電池の+と-の向きを正しく合わせてください。



3. 電池カバーをスライドして元に戻します。


## ワイヤレスレシーバーとコンソールをペアリングできない(リアスピーカー)

---

リアスピーカーとコンソールをペアリングできない場合は、カスタムスピーカーケーブル(別売)を使用して直接システムに接続することもできます。リアスピーカーとコンソールをワイヤレス接続できない場合にのみ、この方法をご利用ください。

**注:** カスタムスピーカーケーブルが必要な場合は、お買い上げになった販売店またはBoseカスタマーサービスまでお問い合わせください。

スピーカーケーブルの接続方法:

1. リモコンの**SETUP** ボタンを押します。
2. [**スピーカー管理**]を選択します。
3. 画面に表示される手順に従い、「次の手順は、リアスピーカーの設定方法を示しています。」というメッセージが表示されるまで操作します。
4.  ボタンを押して、画面の手順に従ってセットアップを完了します。

**注意:** 純正以外のケーブルを使用してスピーカーをシステムに接続しないでください。純正以外のケーブルを使用すると、システムやコンポーネントを破損する恐れがあります。



**[global.Bose.com/SupportLS650](https://global.Bose.com/SupportLS650)**



**[global.Bose.com/warranty](https://global.Bose.com/warranty)**



799908-0020

***BOSE***

©2018 Bose Corporation, The Mountain,  
Framingham, MA 01701-9168 USA  
AM799908-0020 Rev. 00